

学校だより



スクラム

校訓 洗心・奉仕・鍛錬
【学校教育目標】自ら学び続け、自ら成長する氷川っ子の育成

令和8年度
氷川中学校
令和8年5月25日
第2号 文責 田中宗徳

第76回氷川中学校体育大会



今年は素晴らしい天気恵まれ、大会テーマ「共創～Step up Infinity Challenge～」のもと、第76回氷川中学校体育大会を盛大に実施することができました。大会前は暑い日が続き、生徒にとって体調管理が難しい時期もありましたが、「暑熱順化」に取り組み



入場行進の様子

ながら少しずつ体を慣らし、本番に向けて努力を重ねてきました。

また、体育大会練習の最終週には、PTAより冷たいエネルギー補給ゼリー「Weider」、氷川会OBの皆様からは毎年恒例の「ガリガリ君」の差し入れをいただきました。子供たちは嬉しそうに味わいながら元気を取り戻し、練習にもより一層励むことができました。心温まる差し入れに、改めて感謝申し上げます。さらに、PTA役員の皆様には、事前の体育大会関係の会議参加、当日の駐車場案内や広報写真撮影など、多方面でご尽力いただきました。地域と学校が一体となって大会を支えていただいたことに、深く感謝いたします。



各団決意表明

赤団は「心を燃やせ」、青団は「一致団結」というスローガンを掲げ、それぞれが思いを込めて練習に取り組みできました。本番では、開会式で団長による力強い「各団決意表明」が行われ、会場全体が



赤団

青団

引き締まった雰囲気になりました。決意を新たにした生徒たちは、競技の一つ一つに主体的に取り組み、仲間と声を掛け合いながら全力で臨む姿を見せてくれました。競技中の真剣な表情や、成功した瞬間の笑顔、仲間を励ます温かい声が響き合い、まさに「共創」のテーマにふさわしい体育大会となりました。

今年度は、昨年度に引き続き午前中開催としました。限られた時間の中でも、早い段階からダンスの内容を決めるなど計画的に準備を進め、「朝練習はしない」「決められた時間の中で頑張る」というメリハリのある姿勢で練習に取り組みできました。「大縄跳び」もその短い練習時間の中で集中して挑戦し、どのクラスも回数を伸ばそうと声を掛け合いながら努力していました。

当日の各競技等の様子を、写真とともに紹介します。



100m走



1000m走



800m走



200m走



各団・各学年 気合いを入れて



全員リレー



大縄跳び



団対抗リレー



応援団ダンス



氷川ソーラン



赤団



青団

集合写真

総合優勝：青団
田副杯：青団

総合優勝は青団でした。終盤はわずかに数点差の大接戦となり、赤団・青団ともに最後まで全力で戦い抜きました。勝ら負け以上に、生徒一人一人が仲間を信じ、支え合いながら挑戦する姿に大きな成長を感じました。体育大会で得た経験が、これからの学校生活の中で活かされていくことを期待しています。保護者・地域の皆様には温かいご声援をいただき、心より感謝申し上げます。
↓体育大会を終えて、各団団長に感想やメッセージということで書いてもらいました。

私たち赤団は、練習から本番まで「やるときはやる」「振りを大きく」「スマイル」の3か条を意識して頑張り抜くことができました。また、私の目標で「終わったときに全員が赤団でよかったと思ってもらう」ということを掲げ一生懸命引っ張りました。結果は、総合優勝することができませんでしたが、解団式で「赤団でよかった人」と聞くと、全員が手を上げてくれました。本当にうれしかったです。そして、全員が全力で楽しめたことが最高の思い出となりました。
赤団団長 [REDACTED]

今回の体育大会は自分の自信と成長につながりました。3年生は春休みからダンスの曲決めや振りを覚えたりしてきました。でも、いざ1・2年生に教えるとなると、覚えているのにうまく伝えられないという課題が出てきて、少しずつ団長の難しさを実感してきました。体育大会で初めて勝って、今までため込んだ様々な感情がこみ上げてきて、自然と涙が出てしまいました。2ヶ月間、本当にきつかったし、挫折しそうになったけど、やっと努力が報われたし、安心して感謝でいっぱいです。1年生、2年生、そして、3年生、みんな本当にありがとう。
青団団長 [REDACTED]